



AMDA菅波代表が見た被災地～支援の現状は～

東日本大震災の発生から約1カ月、今もなお約15万人が避難所での生活が余儀なくされていて、被災者の心のケアやプライバシーの確保、物資の調達など様々な問題が浮上しています。

AMDAは震災翌日からこれまでに100人以上のスタッフを派遣し、避難所での診察や住宅への巡回診療などを行っています。

菅波代表もその1人で、医療スタッフの調整役として現地入りしました。

菅波代表が見た被災地の現状と復興に向けた課題を伺います。

- 1946年 広島県神辺町（現・福山市）生まれ
- 1965年 岡山大学医学部入学
在学中、アジア各国を旅行する
- 1981年 菅波内科医院開業
- 1984年 AMDA（アジア医師連絡協議会）設立



被災地へ出発



AMDA巡回診療



避難所で活動



被災地の今